

県本部通信

Monthly
Zen-noh
Gunma

10
2023 October
No.257



This
month's
photo

なめこ（JAたのふじ管内 きのこの里）



©群馬県ぐんまちゃん



写真提供：JAたのふじ

Contents

事業のうごき

JAピックアップ！

インフォメーション

アートクッキング

農業チャレンジャー

花木流通センター便り



JA全農ぐんま
公式Instagram
情報発信中！
ぜひご覧ください



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。



JA全農ぐんま
<https://www.zennoh.or.jp/gm/>



事業のうごき

畜産農産部

〇酪農畜産課

- 〇生乳の計画生産の推進
- 〇後継牛の計画的供給
- 〇素牛導入推進
- 〇種豚導入推進
- 〇渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良ET卵産子の活用促進)

〇米麦特産課

- 〇令和4年産民間流通麦引取推進
- 〇令和5年産民間流通麦販売推進
- 〇こんにゃく生玉集荷・販売推進
(取扱期間10月23日～12月15日)
- 〇こんにゃく荒粉・精粉販売推進(入札の実施)

園芸部

〇園芸販売課

- 〇共計ハウレンソウ販売 (周年)
- 〇共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 〇共計味ニラ販売 (周年)
- 〇県統一規格共計露地ナス販売 (11月末日迄)
- 〇県統一規格共計キュウリ抑制販売(12月末日迄)

〇園芸総合対策課

- 〇JA野菜振興計画の
目標達成に向けた取り組み支援
- 〇農産物の安全・安心確保対策
- 〇園芸作物生産実証農場の運営

〇園芸資材課

- 〇秋冬用野菜出荷資材予約・当用推進
(段ボール・パック・フィルム・果樹用資材他)
- 〇温床資材予約推進
(農ポリ・トンネル資材・こんにゃくマルチ他)
- 〇秋冬用野菜種子推進
(ハウレンソウ・ネギ・キュウリ他)
- 〇種馬铃薯予約注文とりまとめ

生産資材部

〇肥料農薬課

- 〇セルフブレンド推進
- 〇麦肥料農薬推進
- 〇茎葉処理除草剤大型規格推進
- 〇バンカーシート推進

〇花木流通センター

- 〇みのり館6周年感謝セール

10月20日(金)～23日(月)

〇担い手推進課

- 〇大規模・系統未低利用生産者への推進支援
- 〇JAの出向く体制強化支援

〇施設住宅課

- 〇賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- 〇カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 〇住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

生活燃料部

〇生活課

- 〇蓄電池推進 (周年)
- 〇シロアリ防除事業推進 (周年)
- 〇JAタウン取扱品目拡大

〇葬祭センター

- 〇ペット火葬推進 (周年)
- 〇墓石事業取扱拡大推進 (周年)

〇石油課

- 〇秋期オイルキャンペーン (9～11月)
- 〇秋期タイヤキャンペーン (10～12月)
- 〇auペイキャンペーン (10月1日～10月31日)

〇ガス課

- 〇ガス・でんき新規獲得推進 (4月～3月)
- 〇給湯器燃料転換推進 (4月～3月)
- 〇ガス器具推進 (4月～12月)
- 〇JAでんき農畜産物プレゼントキャンペーン
(7月～2月)

園芸販売事業合理化PT



8月18日(金)、園芸総合対策課はJAビルで「園芸販売事業合理化PT」を開催し、15JA・関係機関・当県本部の担当者41人が出席しました。2024年以降にトラック運転手の労働時間規制が強まることで物流の労働力不足が懸念される「物流2024年問題」に対応するため、園芸総合対策課は、園芸事業合理化に向けたシステム導入について提案しました。

毒物劇物取扱者試験準備講習会



8月23日(水)、肥料農薬課はJAビルで毒物劇物取扱者試験に向けた準備講習会を開催しました。出席した12JAの53人の担当者は毒物劇物の性質や法規について学びました。毒物劇物を取り扱う事業者では当資格を保有する取り扱い責任者によって適切な管理が義務付けられています。受講者は10月22日(日)に行われる試験に向けて熱心に受講しました。



TAC及び営農・経済渉外担当者 出向く活動強化研修会



8月24日(木)、担い手推進課はJAビルで「TAC及び営農・経済渉外担当者出向く活動強化研修会」を開催し、5JAからTAC及び営農・経済渉外担当者16人が出席しました。職員のスキルアップを図った当研修会は、「出向く活動の強化」をテーマに「考え方・知識・技術」の3編に分けて実施されました。出席者は外部講師による講義動画視聴とグループディスカッションに熱心に取り組む、渉外活動に役立つスキルを磨きました。

総合食肉センター感謝祭



8月25日(金)、群馬県食肉卸売市場内のグラウンドで、食肉市場・JA全農ミートフーズ・JA佐波伊勢崎・日本食肉市場卸売協会・当県本部主催の「総合食肉センター感謝祭」が開催されました。地域住民に感謝を伝える目的で開かれるこのお祭りは、新型コロナ

ナウウイルス感染症の影響で4年ぶりの開催となりました。会場では上州牛・上州麦豚の焼肉やもつ煮の無料配布が行われ大盛況だったほか、お楽しみ抽選会、花火の打ち上げなどが行われ、多くの来場者で賑わいました。

液石法に係る保安認定更新説明会



8月29日(火)、ガス課は、ガス課研修室で「液石法に係る保安認定更新説明会」を開催し、14JAのガス関連部署長・担当者21人と群馬県消防保安課担当者らが出席しました。液化石油ガスの一般消費者に対する保安業務を行うためには、保安機関として認定を受ける必要があります。説明会では、保安機関認定の更新手続きについて群馬県消防保安課相田主任より説明が行われ、出席者は必要書類や記載方法の詳細について確認しました。

葬儀社に必要な説明力研修会



9月15日(金)、アシストホール藤岡でメセナ株式会社・当県本部葬祭センター共催の「葬儀社に必要な説明力研修会」が開催され、4JAやメセナ株式会社・ハラダ共同サービス株式会社の葬祭事業担当者ら23人が出席しました。エピローグコンサルティング株式会社の小野寺秀友代表取締役を講師に迎え、説明力についての研修が行われました。出席者は言葉のみで図形

の形を伝えるロールプレイングなどを通じて、相手と自身の認識に生じるズレや双方を一致させるために必要な意識づけについて理解を深めました。

園芸担当初任者研修会



9月15日(金)、園芸販売課はJAぐんま研修センターなどで「令和5年度園芸販売担当者研修会」を開催し、各JAや当県本部の園芸担当初任者12人が出席しました。座学にて青果物流通や販売などについて説明が行われたあと、JA佐波伊勢崎の大石部長より職員に求められる能力についての講演が行われました。座学の後には園芸作物実証農場と青果物一次加工センターの視察が行われ、出席者は各施設の概要やシステムについて説明を受けながら園芸販売関連の知識を習得しました。



群馬県物産展「ぐんま直送便」



9月16(土)～18日(月)の3日間、イオンモール浦和美園店で開催された群馬県物産展「ぐんま直送便」にて、JA 嬬恋村による高原キャベツの販売会が行われ JA 嬬恋村霜田部長や黒岩課長、当県本部販売促進事務所担当者らが出席しました。3日間の販売会のために用意された計30ケースの高原キャベツは各日とも1時間ほどで完売し大盛況でした。販売会でのキャベツの売上金は群馬県社会福祉協議会を通じて群馬県こども食堂ネットワークに寄付されます。



輸出先国向け国産食肉(和牛) 精肉加工・調理技術セミナー



9月19日(火)、全国食肉学校で輸出先国向け国産食肉(和牛)精肉加工・調理技術セミナーが開催されました。和牛の魅力を海外に伝え、輸出拡大を図ることを目的として日本畜産物輸出促進協議会が主催する当セミナーには、この日17人のカナダ人が参加しました。参加者らは、教員によるカットtingや調理法の実演を真剣なまなざしで見学し、熱心に質問をしながら和牛に関する知識を習得していました。今年11月までの8回の開催で約200人以上の海外の料理人や卸業者が参加予定です。



明和町にある直売所「なしの駅」より今月のおすすめ品種をご紹介します。「新興」は大玉で、甘さの中にある適度な酸味が特徴です。晩生種としては果肉が柔らかくて果汁も多く、貯蔵性が高い梨です。「にっこり」は「新高」と「豊水」の掛け合わせで生まれた大きな梨です。暑さも落ち着いてきたころ食べられ、果汁もたっぷりです。(天候等の影響で出荷時期がずれる場合がございます)



おいしい日本と暮らそう
JAタウン
www.ja-town.com



アクセスはこちら！
<https://www.ja-town.com/shop/c/c3201>

JAのペット火葬

年中無休 24時間 対応可能

訪問火葬サービス

最後の思い出を、まごころを込めて、セレストーで愛する家族との最後のお別れを。

ご火葬プラン

ご家族様のご要望やご予算に合わせて、3つの火葬プランをご用意しています。

合同火葬	個別火葬	立会い個別火葬
単に遺体許可 専用車にてご自宅またはご指定の場所にお迎えに参ります。その後、当施設へお送りします。お別れ火葬後のご遺灰は、埋葬施設の焼灰の混合としてご返還いたします。	スタッフによるお慰め上げ 専用車にてご自宅またはご指定の場所にお迎えに参ります。お別れ火葬後、お慰め上げを行い、お別れ火葬後のご遺灰は、埋葬施設の焼灰の混合としてご返還いたします。	ご家族様によるお慰め上げ 専用車にてご自宅またはご指定の場所にお迎えに参ります。お別れ火葬後、ご家族様によるお慰め上げを行い、お別れ火葬後のご遺灰は、埋葬施設の焼灰の混合としてご返還いたします。
14,850円	18,150円	20,350円

組合員の皆様へ

0120-09-1082

相談 無料

農業チャレンジャー

農 チャレ

半促成ナスの栽培規模拡大へ！

消費者への供給期間延ばす

JAたのふじ管内塩家任さん

JAたのふじ



2

／ Profile ／

塩家 任 (しおや・まこと)さん

1985年生まれ

栽培品目：ナス……………45a
キュウリ(試験栽培中)……………2.5a

趣味：読書

—今回の農業チャレンジャーは、JAたのふじ管内でハウスでの半促成栽培ナスや露地ナスを生産する塩家さんです。

—就農時期は？

10年前、28歳の時に就農しました。

—就農のきっかけは？

もともとは東京や埼玉で造園業の仕事に就いていました。ですが、いつかは地元の藤岡に戻り自然に囲まれ暮らしたいという思いがあったことや、農業は伸びしろがあっておもしろそうだと感心を持ったことをきっかけに、8年間勤めていた造園業を辞めて地元で就農しました。

—就農されていかがでしたか？

就農当初は失敗の連続でした。もともと水田だった圃場を借りた際、雨が降ると苗木が水に浸かって、実が実らなかったこともあります。ですが、毎月1回ほどJAと農業指導センターが主催する栽培講習会に参加し、少しずつ知識や技術を身に付けていきました。就農してから10年目となり、ようやく農業について掴めてきたように感じています。

—一年間のスケジュールを教えてください(生産～出荷まで)

ハウスナスは3月に定植、4～8月まで収穫し、露地ナスは4月に定植、6～11月まで収穫します。栽培をしていない冬季の間には、圃場整備やハウスの増設などを行っています。

—収穫量は？

多いときは一日あたり、40ケース(8kg入)ほど出荷します。

—心掛けていることは？

今年から土づくりに力を入れ、品質のさらなる向上に心掛けています。分解・発酵が十分に行われた完熟堆肥を使い、有効菌となる微生物を入れることで柔らかく栄養豊富な土壌を目指しています。3年先を見据え、時間をかけて土壌をつくっている最中です。

—どんな時にやりがいを感じますか？

農業は手をかけた分だけ効果が出て、一方で失敗した際の責任も自分次第です。それが大変でもあります。昨年11月には、群馬県優良青年農業者表彰を受賞することができ、これまでの成果を改めて実感することができました。

—今後の展望をお聞かせください。

就農2年目に大雪が降った際のビニールハウス再建を手伝った経験から、ハウスを建てる技術を身に付けました。今後はその経験を活かしてハウスの規模を拡大し、春先の半促成ナスを少しでも長く消費者へナスをお届けしたいと考えています。

—地域と協力しながら、着実な取り組みで実績を積み重ねる塩家さん、今後さらなる活躍が期待されます。

3

1 剪定作業をする塩家さん

2 塩家さん

3 栽培中のナス

1

JAピックアップ! ✨

～JAの活動をご紹介します～

JA利根沼田



▲ 見城組合長(下列中央)と
赤城根レタス組合の組合員(6月7日群馬県沼田市にて)

同組合は2年前から取得の取り組みを開始。他部会の視察などを通じて、必要書類や倉庫の整理状況などを確認し、審査に備えました。同組合の見城隆幸組合長は「JGAPの取得は、自分たちの農業を再確認するためにも重要だ。これからも継続し、消費者の皆さまに安全・安心な野菜をお届けしたい」と話しました。

赤城根のレタスは、群馬県の赤城北麓に位置する準高冷地で栽培され、昼夜の温度差が大きいためみずみずしくシャキシャキとした食感が特徴。出荷時期は5月から10月まで。特に5月から7月上旬までは品質が安定します。同JAでは朝取り出荷や真空冷却処理などで鮮度を保持した出荷を行っています。

JGAPで品質管理・効率化へ 沼田市の赤城根レタス組合が団体認証

沼田市の赤城根レタス組合は6月1日、JGAP(農業生産工程管理)団体認証を取得しました。同組合はJA利根沼田のレタス部会の一つで、認証を受けたのは生産者15人。管内では、糸之瀬レタス部会と久呂保レタス部会に続いて3団体目の認証となります。

JGAPとは、日本GAP協会が行っている農業生産活動の持続性を確保するための、食品安全・環境保全・労働安全に関する認証制度。審査項目は約120項目にも上り、近年は取引企業などからGAP認証の要請が強まっています。この認証を取得したことで、品質管理や効率化がさらに強化されることが期待されます。

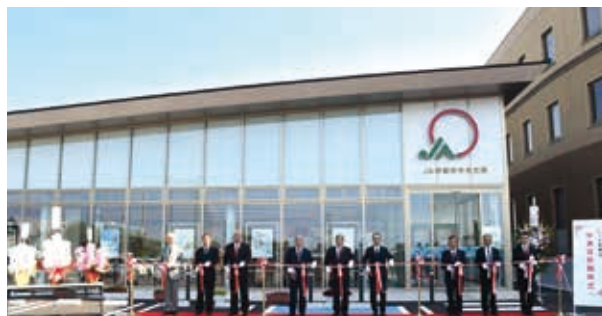
中央支所オープン ～顧客サービスの中心店舗へ～

JA前橋市は7月24日、中央支所をオープンしました。木瀬支所・小屋原出張所・荒砥支所の2支所1出張所を統合し、地域利用者に貢献するJAとなるべく「支所・営農施設再編計画」に基づき本所敷地内に新設しました。同支所は、エリア的にも機能的にも全支所の中心的な店舗として位置づけられ、今後は本所関係部署との連携を強化し、最新の情報をいち早く組合員・利用者に届け、提案できるよう一層のサービス向上を目指します。

中央支所建設準備委員会の森村茂美委員長は「中央支所が地域の新たなシンボルタワーとなり、地域に深く根差した支所となるよう願うとともに支所運営委員会の活動を通じて農業と地域、JAの発展に尽力していきたい」と意気込みを語りました。

現在、同JAは12支所、5営農センター。今後、当初計画の9支所、5営農センター体制へ向け再編・統合を進めています。

JA前橋市



▲ 中央支所のオープンを記念して行われたテープカット

みどりの風 放映予定

※タイトル・放送内容等は
変更になることがあります。

GTV 3ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時 間
お野菜キングダムⅣ〈10月号〉／JA群馬中央会	10月2日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※10月8日(日)	AM 8:00～ 8:30
農業を営む若き力／JA邑楽館林	10月9日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※10月15日(日)	AM 8:00～ 8:30
おいしく食べようぐんまのきのこ／群馬県きのこ振興協議会	10月16日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※10月22日(日)	AM 8:00～ 8:30
年金友の会グランドゴルフ(案)／JAバンク群馬	10月23日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※10月29日(日)	AM 8:00～ 8:30



中村 柚貴子アナ

